



中部 20団体

富山県立滑川高等学校

海洋クラブ

滑川高校の環境への取り組み「～貝から海の恵みを学ぼう～」

海洋科生徒全員が所属する組織。「ACT FOR SEA（すべては海のために）」をテーマに、環境と育成に特化した調査研究活動をしている。海岸漂着ゴミ調査を17年続け、ダイビング資格を取得した生徒が潜水で海底ゴミを調査している。

富山県立中央農業高等学校

地鶏班

比内地鶏活用プロジェクト～地域資源の活用と地域経済の活性化をめざして～

比内地鶏を活用した研究活動を企業と連携して行う。廃棄ロッカーを巣箱代わりに活用し、取卵数を50%増加できた。地域の湧き水を利用し、地域の観光協会推奨の卵として認定された。通常廃棄される卵（約10%程度）を販売する工夫もした。

富山国際大学附属高等学校

北陸富山Blue Earth Project (ユネスコ部)

「富山発！地球共生マインド～地域交流・国際交流でのSDGs活動～」

プラゴミ削減がテーマ。「第二次エコバッグ革命～富山からプラスチックの危険性を社会に広めよう～」とレジ袋削減に着目。富山駅で街頭調査を行い、3月～10月に実施したイベントで500名以上の方に海に潜むプラスチックの危険性を伝えた。

石川県立津幡高等学校①

園芸部

養蚕復活を通じた里地里山の再生・環境保全活動

里地里山の原風景の再生と環境保全の取組として、耕作放棄地に植樹する桑の苗木の生産を行っている。里山資源（養蚕関連）を生かした特産品の開発にも取組み、養蚕の実践では「玉小石」という飼育難易度が最高峰の品種に挑戦している。

石川県立津幡高等学校②

朱鷺サポート隊

トキを通じた生物多様性の普及・啓発活動

全国の高校で唯一、トキの啓発・保護活動を行っている。佐渡島の野生トキの数が飽和状態に近くなりつつある。そこで、私たちは日本のトキが絶滅する前に本州最後にいた場所、「奥能登地区」の調査と里山保全活動に取り組み始めた。

石川県立翠星高等学校

食品科学研究会

廃棄果皮0宣言！眠っている地域資源を活用した6次産業化計画

石川県金沢市「金沢ゆず」生産者の6次産業化支援のため、「廃棄果皮0システム」を構築。企業や生産者と協働し、ゆずピール煮を使用した「金沢ゆず大福」を完成させ、好調に販売された。「廃棄果皮0システム」の全国展開を進める。

福井県立福井農林高等学校

SDGs推進チーム

福井農林高校SDGs宣言 ～持続可能な大地を守るために～

SDGsを達成していくために3つのプロジェクトを展開。①福井農林ステッカープロジェクト、②国内森林資源の保全活用プロジェクト。フクしょうゆほかと連携、③「福井農林高校SDGs宣言」。宣言パートナーの福井銀行と協働したプロジェクト。

岐阜県立恵那農業高等学校

花咲かみつばち倶楽部

花咲かみつばちプロジェクト～みつばちとともに里山の調査・保全・活用～

里山の生物多様性保全と持続可能な農業を目指し、3つ活動を実施。①Bee Research ～ミツバチの送粉サービスの解明～、②花咲か里山プロジェクト～耕作放棄地を活用した蜜源植物の増殖活動～、③Honey Produce～養蜂生産物を活用した地域活性化と価値向上～。

岐阜県立加茂高等学校①

雨降り帰りたい

アルゼンチンアリから日本のアリを守れ！

日本に定着しているアルゼンチンアリは南米アルゼンチン原産の2.5mmほどの小型のアリで特定外来生物に指定されている。今年は、分布調査の継続を行い、駆除を目的とした行動学的実験を行う。また、誘導捕獲装置の開発をめざす。

岐阜県立加茂高等学校②

アワーズ

私たちはどれだけマイクロプラスチックを食べている？

マイクロプラスチックは、海洋汚染に留まらず身近な環境問題である。食卓に上る魚介類の内臓からマイクロプラスチックを取り出し、大きさや数を測定する。ルートを明らかにしプラスチックの生産・利用の在り方について説いていく。

岐阜県立大垣西高等学校

生物多様性調査班

岐阜県西濃地区における在来タンポポに関する調査

外来タンポポが岐阜県西濃地区にどれだけ侵入しているのかを明らかにする。垂井町を500m四方の区画に分け10サンプルを採集（100地点）。採集地点による外来タンポポの侵入度マップを作成。DNA解析による採集タンポポの判定をした。